

2020年1月の時事対策



①イランは2015年の核合意で定められた核開発の制限を事実上すべて撤廃する声明を出した。背景には（ ）によるイラン革命防衛隊の司令官殺害に対する軍事的報復の一部と見る味方が有力。

②台湾の総統選で現職の蔡英文氏が再選を果たした。蔡氏は中国政府が推し進める一国（ ）制度に強く反発しており、同じ制度に反発をしている香港の抗議活動を背景に支持を伸ばした。

③直木賞に川越宗一氏の（ ）が選ばれた。

④千葉県市原市の川沿いに露出した地層が代表的な地層と認定され、77万4000年～12万9000年前の地質時代を千葉時代という意味の（ ）として命名された。

⑤世界陸連がマラソン等の主要の国際大会で、（ ）社のヴェイパーフライシリーズの使用を禁止する意向を示した。同シューズを使用する選手が相次いで好記録をマークしているため。

⑥2019年12月末の（ ）の店舗数が2005年の計測以来初めて前年同時期に比べて減少した。1店舗当たりの売上の伸び悩みが進んでいることが影響していると見られている。

⑦中国の武漢市を中心として、新型（ ）ウイルスによる肺炎が拡散。同市の全域の交通機関が運行を停止するなど事態の終息を図る措置を取ったが、規模は拡大し続けている。

⑧WHOこと世界（ ）機関が中国の新型コロナウイルスに関し緊急事態を宣言した。同宣言はこれで6回目。

⑨（ ）が正式にEUから離脱した。EUから加盟国が離脱したのは初めて。

⑩国土交通省は訪日外国人客数が8年連続で（ ）したと発表した。

合格できる問題集



解答 ①アメリカ ②ニ ③熱源 ④チバニアン ⑤ナイキ ⑥コンビニエンスストア
⑦コロナ ⑧保健 ⑨イギリス ⑩増加

あたふた一般常識



合格できる問題集直前編（数・英・国）、直前編（社・理）が全国の書店、楽天、アマゾンにて発売開始しました。今よりも加点ができる問題にこだわって掲載しています。